

よんでネット* 夏号

発行口茅ヶ崎市立図書館/協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

「みずとはなんじゃ?」かこさとし・作 鈴木まもる・絵



小山峯書店(E・絵本のコーナー)

水はまるで忍者のよう! すかたを消して見えなくなったり、すかたを**か**えることができるのです。

水はまるで料理人! 大事な**りょうり**えいようを、人や動物や植物の中に**はこ**運びこみます。ほかに水は、地球の**ちきゅう**のワラーやふとんの**やくめ**役目もしています。それ、**どう**いうことでしょう?

この本を読めば、水にかくされたひみつがわかりますよ。

「ゆうかなな女の子 ラモーナ」

ベバリイ・クリアー・作 松岡享子訳 アラン・ティ・グリーン 絵

6歳のラモーナは、年上の男の子にだっておそれずに向かっていくような、**かつぱつ**活発で元気すぎる女の子。

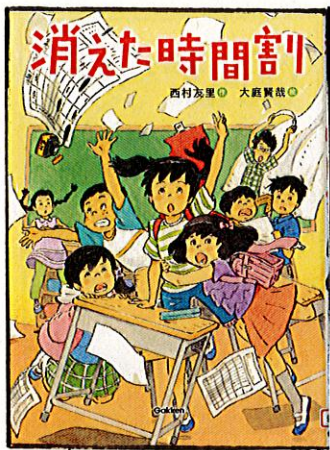
お母さんは、やっかいなことをひきおこさないようにと言いますが、**どう**やたら**どう**できるでしょう。

いっしょうけんめいや、**どう**ていることが、なんかへんなことになってしまうのですから…。

ほかにラモーナが**かつ**活やくするおはなしが**6**冊あります。



学研教育出版(9337)



「消えた時間割」 西村友里作 大庭賢哉絵

クラスで配られる時間割わりに、こぼれた墨汁ぼくじゅうがとびちった。菜乃子の時間割わりは「体育鉄ぼう」の文字が消えていた。すると手首をけがして、苦手な体育をやらずにすんだ。墨汁ぼくじゅうが消したおりに。これ、てぐうぜん...? そうとはいえない。だって、クラス中でふしぎなことがおこってる!

学研プラス(913ニ)

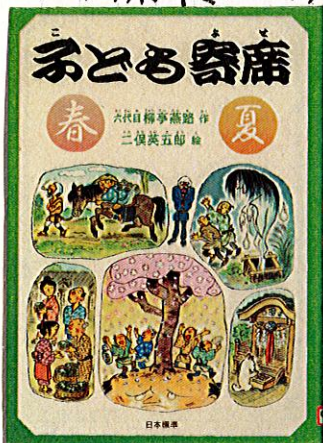
「ピーターサンドさんのねこ」 ルイス・スロボドキン作 清水真砂子訳

夏になるとホテル島ハバカンスに来る人たち。別荘で快適かいてきに過ごすために、食べ物じゆんぶつやマキを準備じゆんぶします。でもなにか足りない? そう!ねこがいなくちゃ! そんな時にはピーターサンドさんのねこを夏の間だけ貸かしてもらうのです。こうして、毎年、何の心配しんぱいもなく過ごすはずだったのですが...



あすなろ書房(933入)

日本標準(913リ)



「子ども寄席 春・夏」 (秋・冬もあります) 六代目 柳亭燕路作 二俣英五郎絵

「子ども寄席」へようこそ! 長屋ながやの熊くまさんは生まれた子どもによい名前なまえをつけようと、ご隠居いんきよさんの家うちへ相談そうだんに出かけます。ところが名前なまえが長ながすぎて... (「寿限無じゆげむ」より) 他、「血屋敷ちぢやしき」や「あたま山」など、落語らくごのこわい話はなしやおかしな話はなしが全部ぜんぶで9つ。

「羽毛恐竜 恐竜から鳥への進化」

恐竜は絶滅ぜつめつして

大島英太郎作 真鍋真監修

いない! ふさふさとした毛けのようなものが残のこっている化石かせきが発見はっけんされ、恐竜きょうりゆうから鳥とりへの進化しんかのみちすじが見えてきた。カラス・スズメツバメ...。それは6600万年前たいりゅうぜんの大量絶滅たいりゅうぜつめつをまぬがれて、今いまなお繁栄はんえいしている恐竜きょうりゆうなのだ。本ほんを開ひらいて進化しんかをたどってみよう。



福音館書店(45才)